

# 最も大変は

## ねたきり老人の

お年寄の日常生活の実態を明らかにし、これからの福祉政策に役立てるため、市は民生委員の協力を得て、毎年「在宅老人実態調査」を行っています。

ここでは、昨年行ったねたきり老人の実態調査結果についてお知らせします。

### 調査方法

調査は、昭和56年7月1日現在で、294人全員のねたきり老人を対象に行いました。調査方法は民生委員による訪問調査です。

### 必要な介護法の習得

歩行については、全く歩けないが半数以上を占め54.1%、付添が肩をかせば歩ける27.6%、手で支えれば自分で歩ける15.6%、杖等を使えば自分で歩ける2.7%となっています。

このようなことから、日常生活の状態により、何らかの介助をすれば歩行できる老人が45.9%になります。したがって、今後、介護者に介護方法及び、機能回復訓練等の知識を習得させることが必要と思われます。

### 入浴車派遣事業も

食事については、手助けすれば自分でできる34.7%、付添・介助を必要とする30.9%、自分では全くできない21.1%、普通に自分でできる13.3%。このようなことから、食事については、86.7%の老人が多少なりの介護を必要としています。時

### 介護は嫁が37%

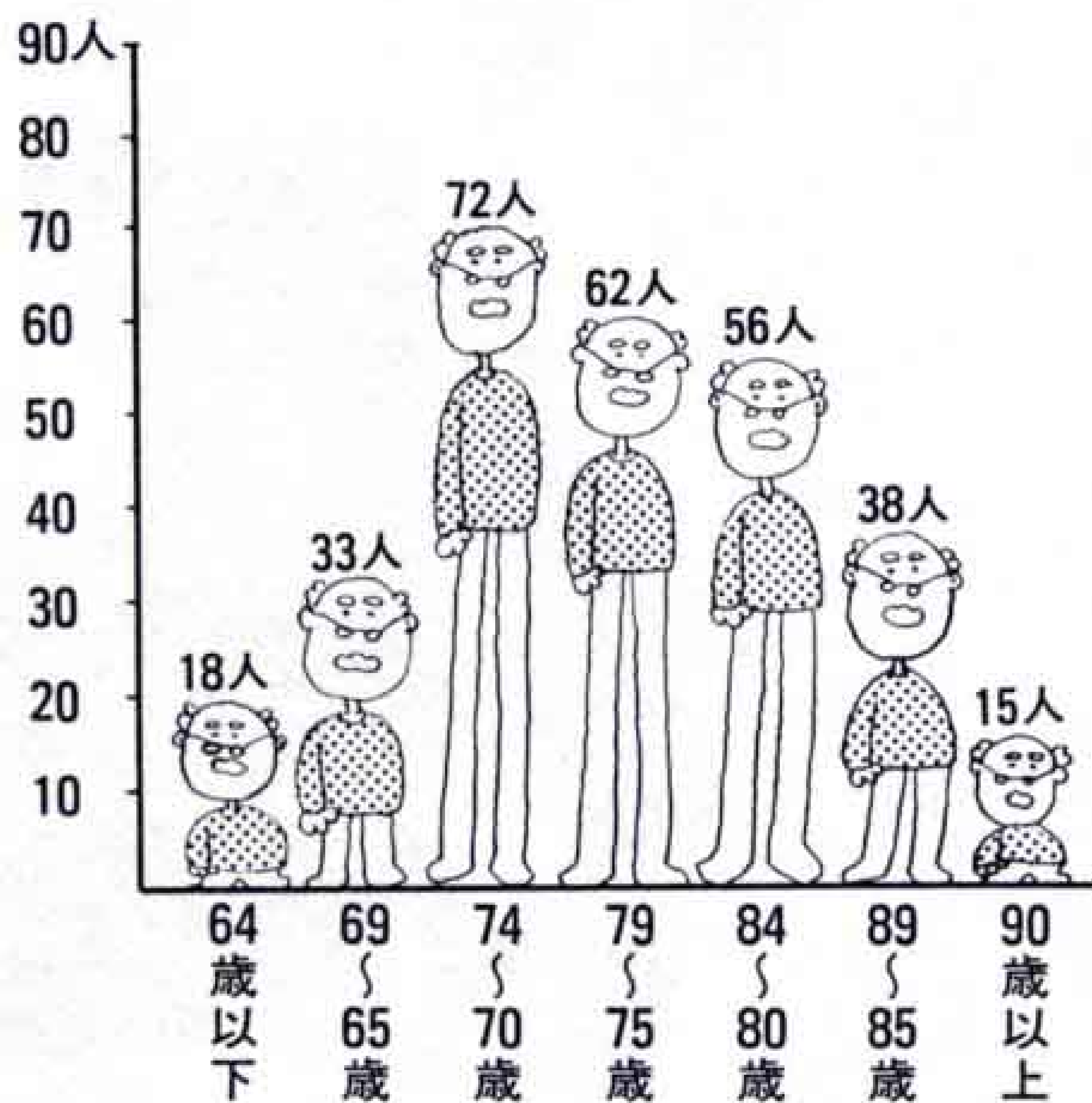
ねたきり老人294人のうち、性別では、男性136人、女性158人で女性が男性を22人上回っています。

これを年齢別にみると、左の図のとおり。70歳から74歳までが一番多く72人(24.5%)、次いで、75歳から79歳までの62人(21.1%)、80歳から84歳までの56人(19.1%)の順となっています。

ねたきり老人の介護者については、嫁が一番多く37.6%。次に、配偶者32.2%、娘12.9%の順です。

ヘルパーによる健康診査

年齢別ねたきり老人数



### 敬老の日おめでとう



昨年の敬老会行事

## 長寿をお祝いします

今年の敬老会該当者は9,026人

9月15日の敬老の日を中心に、今年も各地区で敬老会行事が行われます。今年の敬老会の対象となるのは、明治44年9月15日以前に生まれた、71歳以上のお年寄です。市内には、71歳以上のお年寄が、男3,690人、女5,336人、合計9,026人います。

敬老会では、80歳以上に祝金、88

歳の米寿を迎えられた人に肖像画と祝金、90歳以上にホアシート、金婚式を迎えられるご夫婦に、きゅうすが贈られます。

金婚式(50年)を迎えられるご夫婦は、西本通り 下條 憲さん(75歳) ちよ子さん(71歳)他91組です。

# 入浴

## 実態調査から

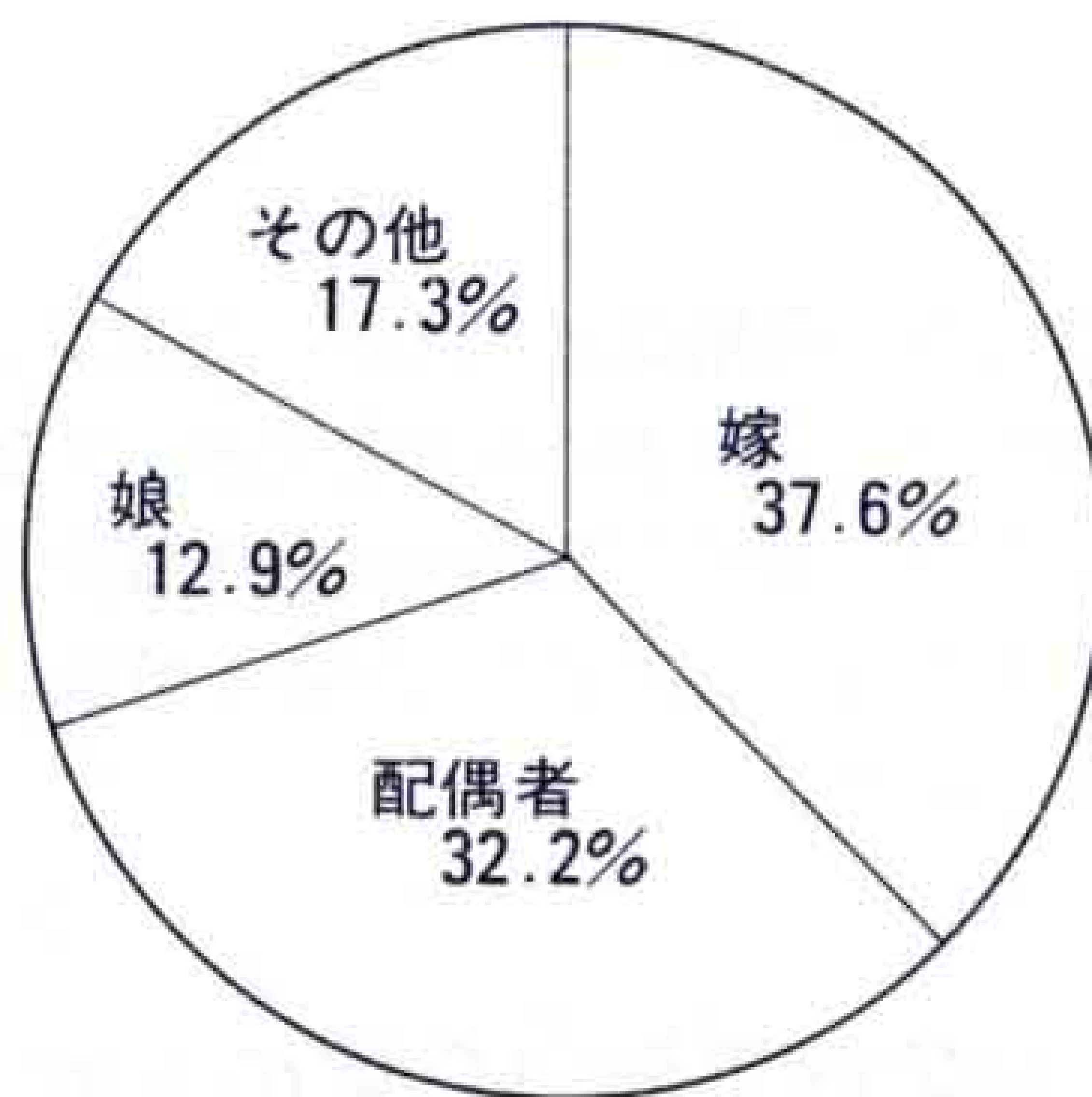


巡回車による入浴サービス

間がかかっても、極力老人自ら食事をとらせるようにしむけていく工夫が必要です。

入浴については、入浴できずきれいに拭く(47.2%)と付添・介助を必要とする(45.6%)で、92.8%を占めています。このようなことから、市としては、在宅入浴サービス事業として、巡回入浴車派遣事業や簡易移動浴槽貸与・給付事業を行っています。

介護者の状況



## 多い脳卒中と高血圧

ねたきりになった原因別状況では右表のとおり、脳卒中と高血圧で、37.7%を占めています。

ねたきりになってからの期間では、1年から2年まで29.6%、1年未満22.8%ですが、5年以上の老人は、29.9%もいます。

ねたきり老人を介護しているみなさんに、大変な仕事の順位をたずねたところ、入浴が最も多く34.8%。次に、オムツ交換の18.6%、着替えの17.0%でした。

このようなことから、今後、在宅入浴サービス事業の充実が、より必要と思われれます。

ねたきりになった原因別状況

区分	人数	比率
脳卒中	70人	19.7%
脳軟化症	21	5.9
老衰	39	11.0
高血圧症	64	18.0
リウマチ	15	4.2
心臓疾患	21	5.9
悪性新生物	40	11.2
神経痛	10	2.8
中風	9	2.5
その他	67	18.8
計	356	100.0

## 思いやりの心を



民生委員  
百瀬昌一さん(70歳)  
今泉緑ヶ丘

世の中の機構や人間関係が複雑になるにしたがい、社会にとけ込めない老人が増えているのが現実。人間は、誰もが年をとっていき、やがては老人となるのだから、すべての人が老人に対して、思いやりを持たなければいけないと思う。また、老人も社会のお荷物とならないように心がけなければいけない。人の幸せというものは、あたたかい思いやりのある家庭で、家族といっしょに暮らすことにあるのでは……。

## 入浴を楽しみに



技術家庭奉仕員  
大島きみ子さん(30歳)  
傘木

土・日を除く月曜日から金曜日までの毎日、入浴車でねたきり老人の巡回訪問をしています。私たちが来るのをお年寄りは、とつても楽しみにしているんです。雨の日などは準備も大変ですが、お年寄の顔を見ると苦勞も忘れれます。ただ、入浴の前に健康診査をやるんですが、血圧が高い場合は入浴できないんです。そういったときは、お年寄が涙を流して残念がります。この仕事は、とてもやりがいのある仕事です。

## 市内最高齢者 平垣の佐野さん

長生きの秘訣は野菜です

今年の市内最高齢者は、平垣268の1に住む佐野はるさん98歳。

佐野さんは、明治17年9月2日生まれ。現在、風邪気味でちょっと体調をくずしているそうですが、顔の色つやもよく、普段は家族といっしょに茶の間でテレビを見るそうです。

長生きの秘けつは、と聞くと「三

度の食事と腹八分目。それに野菜を中心とした食事になっています。」と元気よく話していました。

また、市内には現在306人の寝たきりのお年寄がいます。ねたきりのお年寄には、地区の民生委員から、市長の色紙を添えた慰問品が贈られます。



最高齢者の佐野さん